

奥多摩、小坂志川本流

◆日程 2015年5月23日(土)

◆メンバー L：小林、須田(健)、

私の昔の遡行記録では支流の湯場ノ沢を遡行しているがどんな沢か記憶は無い。再訪したいと思い本流遡行計画を5月例会で提案した。奥多摩の新緑のトンネルを蛇行して流れる綺麗な溪相の沢で、穏やかな流れに癒された山行だった。

5月23日(土) 天候：晴れ

7:10 武蔵五日市駅から笹平でバスを降りる。林道を1時間程歩き終点で入溪の準備、沢歩き使用前の元気な表情をカメラに収めてから沢に降りる。

天気もよく新緑の中を小粒ながらもゴルジュの通過もあり楽しい。綺麗なナメと小滝で満たされた気分で遡行した。綺麗な流れでも、それだけなら緊張感が欲しくなる。釜を持った2m滝では須田さんが倒木から中央を登る、小林は右側をへつる。水流中のスタンスが無くスリッパパンツまで浸かる。そして滝を登る時、上からお助けを貰う。

二俣を過ぎ3mの滝で須田さんが不意に転倒する。岩と全く同じ形状、同じ色の伐採片が浮いており知らずに乗ったのだった。後にいた小林も状況が掴めなかった。勿論、転倒した本人も何が起こったか不明だったと言う。転倒により須田さんもパンツまで浸水した。さらに左足の脛をみると血が滲んでいた。幸い打撲はなく、裂傷で出血が直ぐ止まらない状態だった。ガーゼと包帯で圧迫止血の応急処置をした。止血状況を見る為にも昼食タイムとした。血が止まった事を確認して出発する。暫く動いても問題なさそうなので安心した。

稜線が近くなると沢筋は灌木でうるさくなり左の斜面を上がる。急斜面を程なく登山道にでる。連行山により沢道具を解く。小林は缶ビール、須田さんは缶みかんで乾杯、乾いた靴は気持ちが良い。山頂で元気な使用後を映像に収め、バスの便の良い陣馬高原下バス停までハイキングを楽しんだ。途中の和田峠はチャリダーのメッカ、自転車が30台程止まっていた。

沢歩きは楽しい。自らの判断が求められ、自然の中に浸かる事が



できる。人と会わない事でさら自分も自然になれる！今日は汗をかいても直ぐに乾き本当に快適な日であった。

CT：武蔵五日市駅＝笹平バス停 7:50－林道終点 9:00/9:15－二俣 11:08－3m 滝
昼食 11:45/12:21－連行山 13:15/13:45－陣馬高原下バス停 16:00＝高尾駅



(記：こばやし)